

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課		■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	北上市鳥獣被害対策連絡協議会負担金(事務局事務を含む)			
■事業開始年度	平成9年度			
■評価事業コード	050200 - 106	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	01 豊かな自然環境の保全		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	有害鳥獣による被害を最小限にとどめるため、協議会に負担金を支出し、農作物及び市民生活への被害防止を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	有害鳥獣捕獲連絡協議会負担金(事務局事務を含む)	市民	負担金実績100,000円 、総会開催、クマ出没時の広報活動、追払い花火配布、電気柵購入費助成	煙火保安講習受講、鳥獣駆逐用煙火配布、クマ忌避資材実証実験、クマ出没時の広報活動、カワウ対策事業、クマ対策研修会開催、狩猟免許受験料補助金、電気柵設置事業費補助金

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	9	107	106	111	
人件費	1,366	968	1,051	1,908	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,375	1,075	1,157	2,019	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	狩猟免許補助金交付人数	0	0	4	7	
	電気柵補助金交付件数	0	4	8	1	

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

クマ出没時の広報活動やクマ対策研修会の開催等により、市民への注意喚起及び周知を図ってきた。また、狩猟免許受験料補助金及び電気柵設置事業費補助金の活用により、対象者に補助を行なった。

問題点・課題等

クマ忌避資材実証実験を実施したが効果はみられなかった。今後は協議会のみならず、関係機関・地域住民と連携した地域ぐるみの対策が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

有害鳥獣による被害防止のため、今後も事業継続が必要

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了